

# 論文審査の結果の要旨

2020年2月13日

学位論文題目 がん患者に対するコルチコステロイドの呼吸困難緩和効果に関する研究

学位申請者 前 田 剛 司

審査委員 主 査 早 川 達



副 査 丁 野 純 男



副 査 山 田 武 宏



終末期がん患者における多彩な身体症状のうち、呼吸困難は苦痛の度合いが高いためその対応は極めて重要である。がん患者における呼吸困難の原因は多様であり、原因治療が困難である場合は、酸素投与のほか、薬物療法としてはモルヒネが有効である一方、コルチコステロイドの呼吸困難緩和効果に対する十分なエビデンスは確立されていない。

本学位論文は、終末期として特に死期がせまった呼吸困難を訴えているがん患者に対して、コルチコステロイドの全身投与によって変化する呼吸困難の状態を評価してその全身投与の効果を検討した研究成果をまとめたものである。

呼吸困難緩和効果を STAS-J (Support Team Assessment Schedule-Japanese) にて評価した結果、単独投与およびモルヒネとの併用が呼吸困難の緩和に有効であることを示した。また、コルチコステロイド投与による有効性は投与量には依存せず、コルチコステロイドに好反応性を示す累積投与量範囲を明らかにした。コルチコステロイドに対する好反応性は生存を延長させることも明らかにし、これらの知見は前向き観察研究にて評価・検証を行った。以上の新規に得られた研究結果は、がん患者の呼吸困難に対するコルチコステロイドの適正使用に重要な情報をもたらすものと考えられる。

以上のことから、本論文は本学の博士論文として評価に値するものと認定した。